

## 平成29年7月熊野市教育委員会会議録

1. 日 時 平成29年7月27日（木） 午後4時00分から
2. 場 所 熊野市役所 4階 第4会議室
3. 出席者 倉本教育長 大久保委員、糸川委員、北野委員
4. 欠席委員 高見委員
5. 事務局説明員  
岡本総務課長、楠学校教育課長、杉本社会教育課長  
小瀬総務課庶務係長
6. 教育長報告
  - (1) 一般経過報告
  - (2) 事件・事故・問題行動等
  - (3) 今後の予定
7. 議 事  
(議案第1号) 平成30年度以降小学校で使用する教科用図書の採択について
8. 報告事項
  - ・総務課
  - ・社会教育課
  - ・学校教育課
9. その他  
「教育委員等の研修会」及び「三重の教育談義」への参加について

開会

(教育長) 開会の宣言

教育長報告

(教育長・事務局) 平成29年7月1日から平成29年9月4日までの一般経過報告、事件・事故・問題行動等、今後の予定、その他について報告。

(教育長) 教育長報告につきまして、何かご質問等はありませんか。

(委員) 有馬小学校のガラスの破損は1枚だけですか。

- (事務局) はい。1枚です。
- (委員) 今後の予定なのですが、8月23日は、確か教育委員等の研修会が無かったでしょうか。
- (事務局) 大変失礼しました。今後の予定に漏れておりますが、8月23日は教育委員等の研修会がございます。
- (委員) 小学生児童の交通事故の件で、質問というわけではないのですが、私自身が、自宅付近の道路を車で走っていた時のことで、ちょうど曲がり角で減速をしてはいたのですが、小学校低学年位の児童が、誰かに追いかけているのか、後ろを見ながら自転車に乗ってこちらに進んで来ているのを見て、危ないとは思ったのですが、クラクションを鳴らして驚かせてもいけないし、なるべく端へ寄せて、やり過ぎた直後に広い通りに出たところで、先ほど出合った児童を追いかけているのか、更に小さな子どもが周りに目もくれずすごいスピードを出して自転車で走って行ったのを見て、こういう事が交通事故に繋がるのではないかと、とても怖い思いをしました。夏休みに入ると子ども達も遊びに夢中になって周りが見えなくなることがあると思います。今、とても気になっているのが、中高生がスマホを見ながら自転車に乗っていることです。自動車を運転する私たちももちろん気を付けなければならないのですが、子ども達も自分の身を守るといふこと、小学生であれば、自転車に乗る時はスピードを出さないようにするなどを登校日等で、学校から指導していただければと思います。
- (事務局) そうですね。各学校で終業式の際に夏休みの生活の部分や、小学生でしたら自転車教室等で自転車の乗り方等について指導はさせていただきます。命が一番大事ですので、今後も指導をしてまいります。
- (委員) お願いします。
- (教育長) その他にございませんでしょうか。
- (委員) 中学校運動部活動における熱中症事案についてですが、子ども達を見ていてかなり大変そうです。特に中体連前は、練習も遠征も連日続いて厳しいようですね。体調を崩して休む子どもたちもいると聞きました。今年は特に暑さも厳しいように思います。顧問の先生方も必死なのでしょうが、何かあってからでは遅いので、体調管理には、十分注意して指導していただきたいと思います。
- (事務局) 部活動につきましては、年々暑さも厳しくなっておりますので、その辺のスキルを身につけて、きちんと水分補給をしながら、体調

管理に気をつけていかなければならないと思います。

- (委員) 最近では、遠征先も遠方で、朝も早く夜も遅いことが多いようで、それで休みなく練習もあるとなると、かなり子ども達は大変ではないかと思います。
- (事務局) この後の報告事項でも述べさせていただきますが、部活動については、土日どちらかを必ず休んでいただきたいということと、ただ、大会等で土日連日となる場合がございますので、そうなった場合、必ず同一週内で休養日が必要であると考えますので、これからは、そのように進めてまいりたいと思います。
- (委員) この間、私の子どもが、学校から部活に関連したアンケートをもらって来ていました。内容が、時間は適切だと思うかとか好ましい時間帯は何時だと思うか、クラブをした結果メリットがあったかというクラブに関して親の意見を参考に、というものでした。そのアンケートも全員ではなく、無作為に選ばれた保護者がアンケートで答えるということがあったのですが、その中には、指導者に対する意見もあり、専門ではない指導者に教わる部活動についてどう思うかなど、部活動といっても色々難しい問題がある中で、親の考え方も様々ですし、学校の先生方もすごく大変だと思いました。私たちが子どもの時の部活動の感覚と今の子どもたちの感覚も違いますし、その中で、良い所を取って、それに折り合いをつけるのは非常に難しいと思います。
- (事務局) 部活動の在り方、効率的な指導方法について、ニュースにもなっておりますが、生徒への指導方法など、色々な課題がございます。
- (委員) 木本高校の吹奏楽部は休みが少なく、大変であるということをよく耳にしますが、実際、演奏を聴きに行った時の生徒の雰囲気を見ると、一生懸命やった後の充実感というか、やりきった感が顔に出ているような気がします。やはり良い面もありますよね。
- (事務局) ただ、そういうふうにする子どもが全てではないということです。苦痛に思う子どももいるかもしれません。指導者の面でも、管内の中学校を見ていますと、専門性を持った者が教える場合と素人が教える場合とあり、それに対しての親の意見も様々です。中学校の部活動は、何を教えるかということが大事だと思います。運動部であれば、技術というのはその次であると考えております。
- (委員) 全体の流れがそのように向いてくれば良いのですが、部活動の考え方がまちまちのように思いますので、それを一つの方向に向けていくということが大切だと思います。

- (教育長) 他にございませんか。
- (委員) 無し。
- (教育長) それでは事項書3・議事に移ります。
- (教育長) 議案第1号平成30年度以降小学校で使用する教科用図書の採択について事務局より提案をお願いします。
- (事務局) 議案第1号平成30年度以降小学校で使用する教科用図書の採択について提案。
- (教育長) 議案第1号につきましてご質問等はございませんでしょうか。
- (委員) 無し。
- (教育長) 議案第1号につきまして、ご承認いただけますでしょうか。
- (委員) はい。
- (教育長) ありがとうございます。
- (教育長) 事項書4・報告事項に移ります。総務課から報告をお願いします。
- (事務局) 総務課より熊野市議会産業教育常任委員会行政視察随行について報告。
- (教育長) 質疑等は、各課の報告が全て終わったあとに一括させていただきます。
- (教育長) 続きまして、社会教育課からお願いします。
- (事務局) 社会教育課より紀和コミュニティセンター改修・鉾山資料館企画展・「海にのせたガズの夢」の撮影協力について報告。
- (教育長) 続きまして、学校教育課からお願いします。
- (事務局) 学校教育課より総勤務時間の縮減について・新学習指導要領・コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の導入について報告。
- (教育長) 各課より報告事項がございました。何かご質問等ございませんか。
- (委員) 総務課の報告事項の中で、その自治体におけるICTを活用した遠隔共同学習について、どれぐらいの頻度で実施されたのでしょうか。月に何回とか。
- (事務局) 平成28年度は、数学科で4年生が3回、6年生が6回、合計9回です。社会科で4年生が4回、5年生が5回。中学生の道徳では、1年生が3回、2年生が2回、3年生が2回です。各学校間の調整が難しいようです。
- (委員) 経費も相当かかるようですね。
- (事務局) 経費は、平成27、28年度と文部科学省委託事業として実施したようです。当初は29年度までの事業だったようですが、打ち切られて、その後は単独で経費を持ったということでした。計画では、全生徒へタブレットを配布するのでしょうから、その後の費用は大

変な額になると思います。

(教育長) その他にございませんでしょうか。

(委員) 紀和コミュニティセンターの図書館は無くなるのでしょうか。

(事務局) 図書館は2階へ移転します。若干、部屋が狭くなるため、配置する本の精査が必要になりますので、現在、図書館の職員で選定作業を行っています。

(委員) コミュニティスクールについてお聞きしたいのですが、平成30年度から新鹿小中学校と五郷小学校、五郷中学校で実施されるということですが、だいたいの委員は決まっているのでしょうか。

(事務局) 今、進めているところです。地域の方や保護者、地域の色々な方面の方で構成されるのですが、その中に当然校長も入ります。概ね10名程度で考えております。

(委員) 学校からは校長先生だけですか。

(事務局) 委員は、校長だけです。事務局として教員が関わることもあると思います。

(委員) 分かりました。

(委員) 私も学校評議員を子どもが小学生の時に1年間やらせていただいたことがあるのですが、最初、全然意味が分からず、母親部長になった人が評議員になるというような感じで、何回か学校での会議へ出席して、資料をいただいただけで終わったような気がします。そもそも母親部長が評議員になるというのはどうなのでしょうかね。他の評議員の方は何年も継続されている方で、流れも、自分の役割というものを分かっておられるようでしたが、保護者として入っておられる方は、ただ会議で座っているだけでのような気がして、その辺をどうにかならないものかと思うのですが。

(委員) 学校の中で、ある程度こういう事をやってみませんかと声を掛けるか、充て職でやっているか、ですよね。確かにいきなりそんな委員になっても訳が分からないと思います。

(委員) 1年で終わるということなく、2、3年継続してやっていただくとか。そうすれば、保護者代表として学校へ意見を述べる等、学校側も保護者に対してメッセージを送る等のお互いの窓口になりますよね。せつかく保護者代表として評議員をしていただくのであれば、もう少し、自身の役割が分かるようにしていただきたいです。

(事務局) おっしゃる通りです。最初に目的というものを明確にして説明し、お願いしなければならないと思います。

(委員) 会議に出席して、意見を言っていただければということだったので

すが、少し分かりづらかったですね。

(委員) 学校評議員も学校によって決め方が様々だと思います。充て職というか、うちの近隣の学校であれば、何年も継続してやっているのは民生委員さんですね。民生委員は変わることが少ないですからね。あと区長さんをお願いしている学校がありますね。区長は定期的に変わりますからね。そういう決め方をしている学校があると思います。

(事務局) 確かに学校としましては、区として直接、動いていただくこともありますので、区長さんになっていただく方が良いでしょうし、民生委員さんは、様々な部分の情報を持っていらっしゃるということでお願いしている部分も多いと思います。ただ、今回のコミュニティ・スクールは、それぞれの意見を聞かせていただくだけではなく、この学校をこういうふうに行きたいと目指す学校像を描いていただいて、そのことについて、責任を持って承認していただくということでお願いしたいと思います。そこで、地域や保護者を含めて、子どもにとって、地域にとって、学校にとって良い学校づくりをしていただくという事です。

(委員) 学校運営協議会の委員になった人が、自分達で学校を作っていくという気持ちになっていただかなくてはなりませんね。

(事務局) そうですね。

(教育長) 報告事項について、他にございませんでしょうか。

(委員) 小学校の英語科の話ですが、小学生もかなり時間数を確保しなければならぬということで、今、英語の専門ではない小学校教員が多い中で、ALTも活躍してもらわないといけませんね。今週、ALTは、保育所へ行っているのですか。

(教育長) 今、夏季休業中ですので保育所へ派遣しております。

(委員) 保育園に行くのは、夏季休業中だけですね。

(事務局) そうですね。

(委員) 今後、英語科が本格的になった場合の為に、ALTの人数を増やす予定はないのですか。

(教育長) 少し増やす事も考えております。

(委員) 多少は、英語が得意な先生もおられるでしょうが、これをやるとなると初めての事ですし、大変だと思います。

(委員) 英語の話ではなく、夏休みの復習というか、振り返り学習のことなのですが、子どもが1年生から6年生に上がっていくにしたがって、学習内容が難しくなってきますよね。1年生の時に皆に差はなくて

も、高学年になった時にどこで差が出てくるかというところを克服していくか、放置するか、だと思います。それが、学年が上がるにつれて、学習内容も多くなり、遡って復習する量も増えていきますよね。気付いた時には、復習する量の方が多くなって、それでも新しいところへ進んでいくし、分からないところそのままになって、足踏み状態で追いついていかないというか。小学校の低学年の時から振り返り学習を身に付けていかなければならないなと思います。ある方に、100点満点中99点を取った子どもは、何故、自分は1点を間違ってしまったのかと深く振り返ることもあるが、100点満点中30点しか取れなかった子どもの方が、本来、取れなかった70点を振り返り考えなければならぬのに、それを振り返る子どもの方が少ないのではないかと聞いたことがあります。確かにその通りだと思いました。間違えているところが少なければ、復習する気持ちになれるでしょうから、荷物を少ないまま進級することが出来れば、学習意欲も伸びるし、成績も上がって来ると思います。中学生になってから小学生の学習内容を復習することは、なかなか出来ないと思います。つまりき気付いて、理解してから進むということが一番良いと思うのですが、小学校の低学年の時から、そのように徹底して先生方に指導していただければ、子ども達も身に着くと思うので、進級して先生が代わったとしても振り返って学習することができるでしょうし、やはり、鉄は熱いうちに打て、ではないですが、小さい時に徹底して、そのような指導してもらうことが大事なのではないかと思います。ちょうど、夏休み中ですし、夏休みになる前なら良かったのですが、登校日を利用して、子どもの学習の仕方を見直していただけたら、分からない子ども達の数が少しでも減るのではないかと思います。

(教育長) 他にございませんでしょうか。

(教育長) 資料を見ていただけますでしょうか。先ほど平成30年度以降小学校で使用する道徳の教科用図書について採択をいただきました。道徳教科及び道徳の時間に関する経緯等ということで、昭和33年に小中学校で週1時間の道徳の時間が創設されたのが始まりということで、その経緯が書かれています。今年度までは、「道徳の時間」で、来年度からは、「特別の教科道徳」となり、教科となります。教科となりますから評価をしなければなりません。評価をするのは、文章表記で行います。なぜ特別が付いているのかということ、中学校で考えていただくと分かりやすいですが、その教科の免許を持って

いないとその教科を教えることはできないのですが、ただ道德については、教科ではありますが、免許状がございませんので、担任が教えたり、免許が無い者でも教えることが出来るということで、特別の教科道德となっております。また内容や目標については目を通していただければと思います。

(教育長) 続きまして、事項書5 その他に進みます。その他「教育委員等の研修会」及び「三重の教育談議」への参加について事務局より説明をお願いします。

(事務局) その他「教育委員等の研修会」及び「三重の教育談議」への参加について説明。

(事務局) また日程が近づいてまいりましたら、集合場所等通知させていただきます。

(教育長) 次回の教育委員会議の開催予定日ですが、8月31日(木)午後4時からということで、会場は、2階の第1会議室左側となっておりますので、よろしくお願いいたします。

(教育長) これをもちまして、平成29年7月教育委員会会議を終わりたいと思います。